

施工管理アプリの新たな可能性 ~ “あったらいいな” の実現に向けて~ (東京都町田市)

取組概要

市町村は国や都道府県より工事規模が小さく、工事受注者も中小企業が多いことから、DXは遅れがちである。このため、**主体的にICTを用いて業務のDXに取り組んでいく**必要がある。

町田市と建設業者双方のDXを目指し、クラウド型建設プロジェクト管理サービス「ANDPAD」を提供する株式会社アンドパッドと2023年5月に協定を締結し、実証実験を開始した。

これにより、「ANDPAD」を含めた施工管理アプリの活用シーンを市町村が発注する公共工事や施設調査などに広げ、民間事業者と協働し、市が発注する建築工事に係る受注者等の負担軽減や各種業務の効率化を目的としている。

取組の効果

- ◆工事受注者の工事写真作成時間が1枚あたり5分から**1分**に短縮!
- ◆定例会議資料の電子共有化により、従来の紙印刷から作業時間**85%**削減!
- ◆チャット機能、リモート通話機能を活用したコミュニケーションの円滑化!

創意・工夫した点

協力体制の構築

協定先に対しては、アプリの活用に加えて公共工事との協働により新たな価値を創造する視点を持ち、工事受注者には説明会を実施し具体的なイメージや効果を共有した。

他自治体への広がり

国土交通省関東地方整備局の営繕技術検討会や東京都の26市に対し事例発表を行うことで、本取組を他自治体にも波及させながら進めた。

他団体へのアドバイス

行政を取り巻く環境

DXに限らず、目まぐるしく変化する環境に対応・適応するには、自治体が主体的になり、失敗を恐れず挑戦することが必要であると考えます。

他部署との連携

公共工事は、工事主管部署だけではなく、契約部門、検査部門、総務部門といった複数の部署にまたがるため、組織全体で取組を検討していく必要がある。まずは所属部署で検討を進め、少しずつ広げていくのが良いと考える。

人口 430,380人 (R6.1.1現在)
担当 財務部営繕課



工事書類(紙)の確認

施工管理アプリ導入前



工事書類(電子)の確認

施工管理アプリ導入後

